



## 2020年の誕生日を祝う

### バーバ・ムクターナンダの物語

#### マントラ——バーバの神聖な身分証明書

1975年の2月、バーバは、カリフォルニア州のサンディエゴを訪れました。彼は、大変きれいな住宅街に滞在していて、毎朝、ジャパ・マーラーを練りながら、通りを行ったり来たり、行ったり来たり、行ったり来たりと歩いたものでした。

ある朝、私を含む小人数のグループが、バーバと一緒に歩いていた時でした。1台のパトロールカーが近づいて来て私たちの所で止まり、するともう1台やって来て、今度は一人の警察官が乗ったオートバイまでやって来ました。私は、バーバが目を上げるのを見ていました。彼は、ジャパ・マーラーの玉を指で練りながら、さらに数歩進みました。

警察官の一人が車から出てきました。バーバは、警察官の所に真っすぐ行くと、言いました。「私は、アメリカ人の警察官にお会いしてみたかったです！ 何を尋ねたいのですか？」

警察官は、バーバに尋ねました。「あなたは、身分証明書を持っていますか？」

バーバは、「はい、持っていますよ！」と言い、彼にマントラ・カードを手渡しました。私たちは大変驚きました——バーバがマントラ・カードをポケットの中に持っているとは、これまで全く知りませんでした！ 警察官は、マントラ・カードのバーバの写真の面を見ました。「それを裏返しでござんなさい。裏側にすべての説明があります」と、バーバは彼に言いました。

私には、警察官がすっかり驚いているのが分かりました。「電話がかかってきたのです」と、彼は説明しました。「この近所に住む女性からで、あなたがどうして行ったり来たりしているのか分からないので、あなたを調べてほしいと言ってきたのです。それで私たちは来たのですが…あなたは大丈夫ですよ」

すると、バーバがこう言うのが聞こえました。「あなたはとても素晴らしい。とても良い仕事をしていますね。これからもこのような良い仕事を続けるべきです。見事ですね！」

警察官たちとの別れ際に、バーバは手を振りながら言いました。「もう一度、私に会いに来てください。来て、インテンシヴを取ってください！」

バーバは、全く繕うことなく、とても親しみやすく、とても心がこもっていました。警察官たちは帰る頃には、その顔に実に美しく、朗らかなほほ笑みを浮かべていました。

